

GMOフィナンシャルHD 個人投資家向け会社説明会

STOCK CODE:7177

2018年11月17日

■ 企業グループの概要

成長戦略

株主還元

企業概要

商号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社	上場年月日	2015年4月1日
代表者	代表執行役社長 鬼頭 弘泰	1単元の株式数	100株
設立	2012年1月	株価※2	703円
証券コード	7177 (東証JASDAQスタンダード)	時価総額※2	842億円
グループ 事業概要	証券・FX事業、仮想通貨事業		
主要株主/ 持株比率※1	GMOインターネット株式会社 80.26%		
連結子会社数※1	10社 (国内4社・海外6社)		
資本金※1	656百万円		
連結従業員数※1	352名		

2018年10月に実施した
当社株式の売出し等により
売出し後の持分比率は
61.89%まで低下※3


※1 2018年9月30日現在
※2 株価・時価総額は2018年11月9日終値を使用
※3 2018年9月30日現在の発行済株式総数を使用

テクノロジーの活用により低コストで使いやすい金融サービスの提供を追求



2005年10月
GMOインターネット証券
(現GMOクリック証券)設立

2006年5月
オンライン証券取引サービス開始

2006年10月
店頭FX取引サービス開始 

香港
進出



2012年1月
当社設立

2012年8月
香港子会社で
FXサービス開始

2012年9月
FXプライム (現FXプライム
byGMO) 連結子会社化


2010年4月
CFD取引サービス開始

英国
進出



2015年3月
英国子会社で
FX・CFDサービス開始

2015年4月
当社上場

店頭FX取引高 
初めて世界No.1*を達成

タイ王国
進出



2017年9月
GMOコイン連結子会社化

2017年11月
タイ王国子会社で
オンライン証券取引
サービス開始

2005 2006

2010

2012

2015

2017

*Finance Magnates調べ

金融サービスをもっとリーズナブルに もっと楽しく自由に

あらゆる金融関連商品・サービスをいつでも、どこでも
便利に取引できる世界の実現を目指しています

「インターネット」と「金融」の交わる領域で事業を展開
現在は株式やFX、CFD、仮想通貨などのインターネット取引を提供

GMOフィナンシャルHD

証券・FX事業

GMOクリック証券

FXプライム by GMO

仮想通貨事業

GMOコイン

※上記3社以外の子会社7社

高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

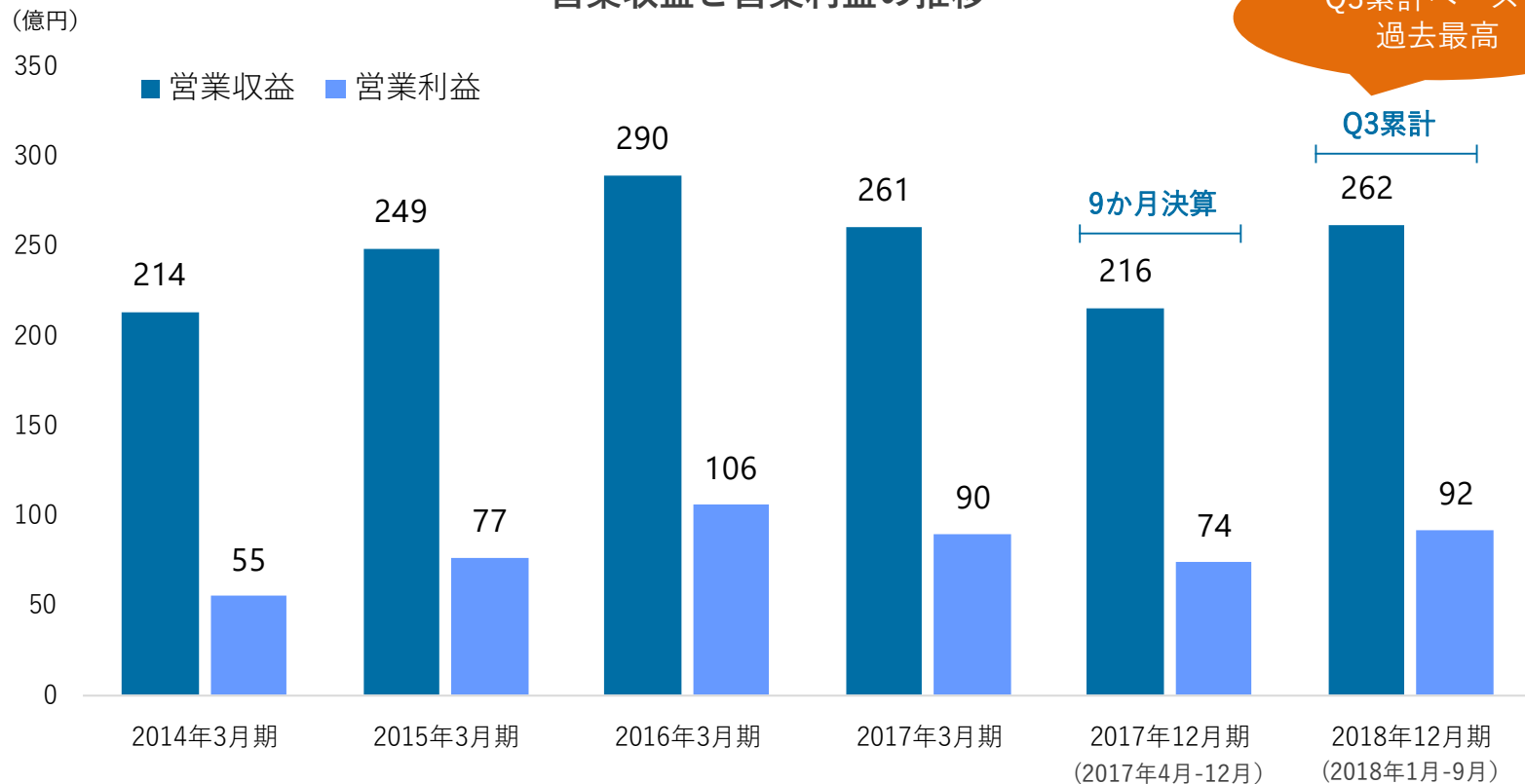
- システム内製化により、システム開発コストを低減。
価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応



テクノロジーを
フルに活用し
利便性の高い
サービスを実現



営業収益と営業利益の推移



※2017年12月期より決算日を毎年3月31日から12月31日に変更。決算期変更の経過期間となる2017年12月期は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。

直近の決算サマリー(2018年12月期第3四半期)

	前年同一期間参考値 (億円) (2017年1-9月)	2018年12月期Q3 (2018年1-9月)	前年同一期間比	
			増減額	増減率
営業収益	194.1	262.3	68.2	35.2%
純営業収益	178.1	247.9	69.8	39.2%
営業利益	61.2	92.6	31.4	51.3%
経常利益	60.3	94.2	33.9	56.3%
最終利益	45.3	62.1	16.7	37.0%

当社は、2017年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しています。本資料の前年比較は、2017年1月1日～9月30日を前年同一期間として算出した参考数値との比較により記載しています。

直近の決算サマリー | セグメント別の状況

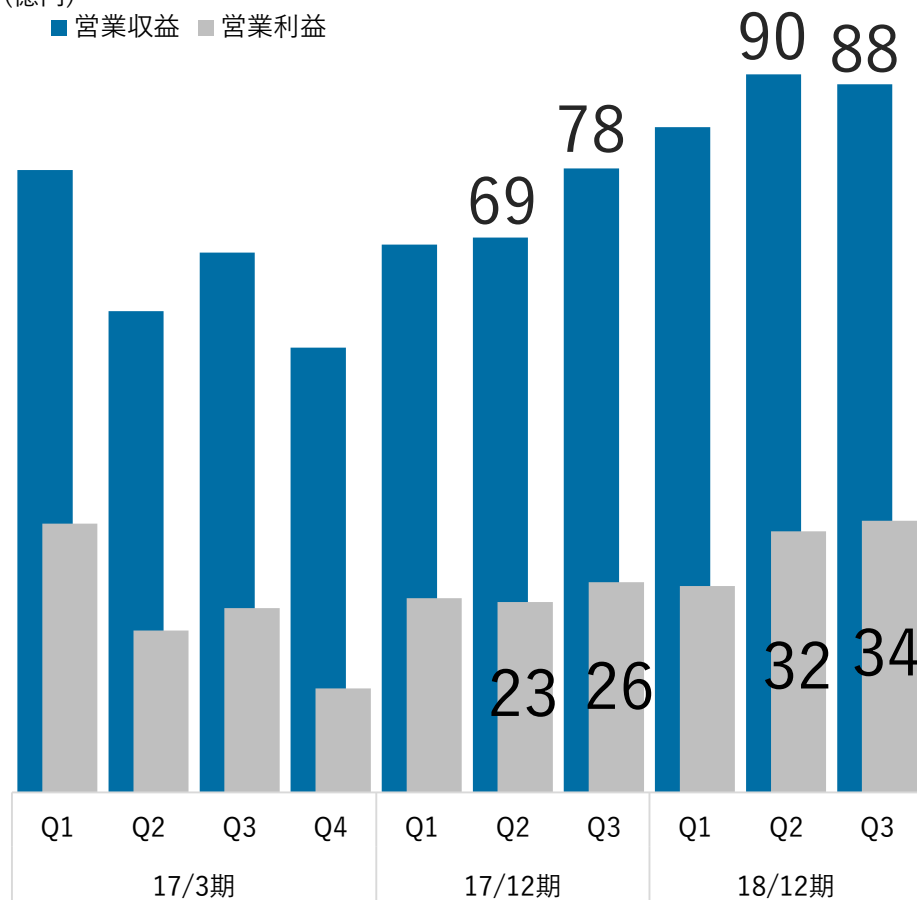
		2017年1-9月	2018年1-9月
(億円)			
証券・FX事業	営業収益	187.2	226.9
	営業利益	59.7	86.3
仮想通貨事業	営業収益	—	29.8
	営業利益	—	4.8

当社は、2018年度より報告セグメントに新たに「仮想通貨事業」を加え、従来の「金融商品取引業」は「証券・FX事業」へと名称を変更しました。2017年1-9月の証券・FX事業の数値は、ご参考として、組み替えて表示しています。

四半期業績推移 | 営業収益・営業利益

(億円)

■ 営業収益 ■ 営業利益



収益利益ともに
堅調に推移

企業グループの概要

■ 成長戦略

株主還元

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

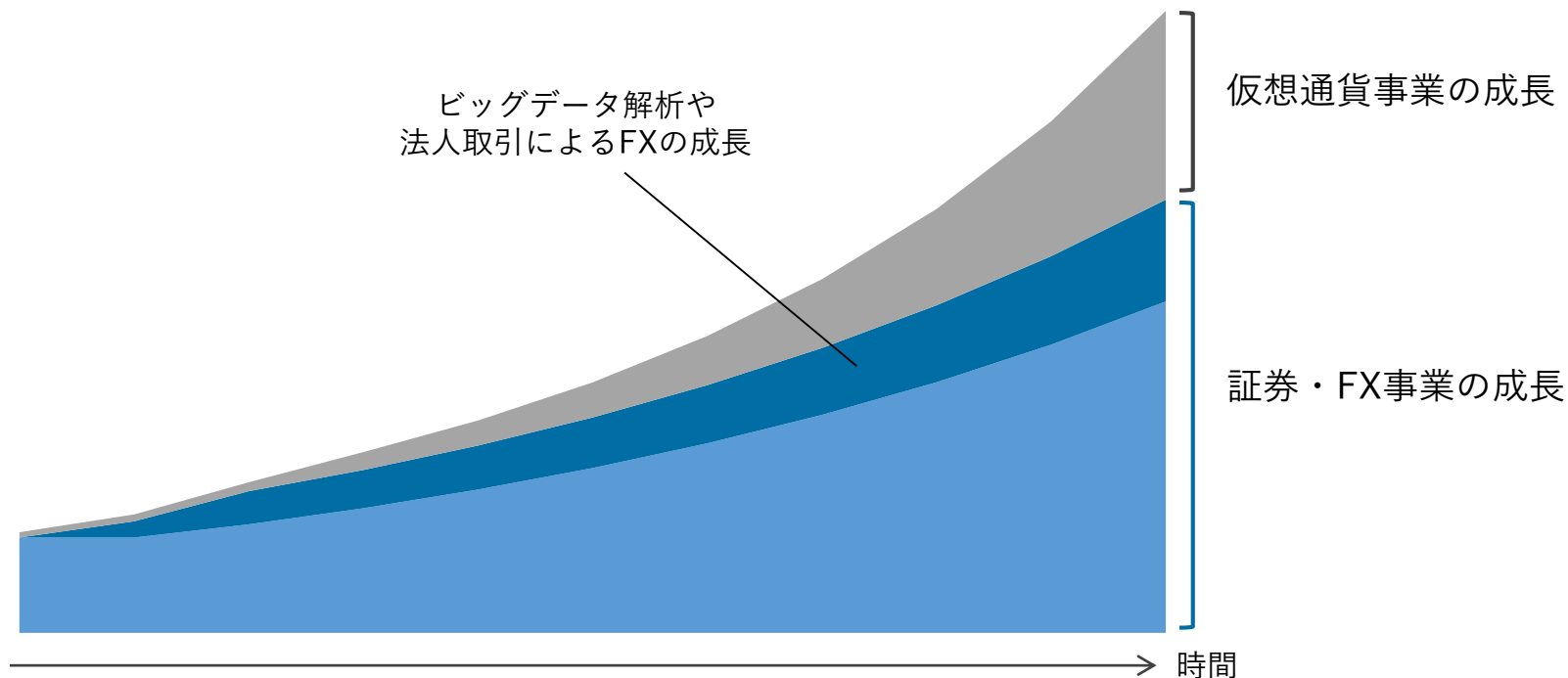
成長分野への投資
(仮想通貨・銀行)

その他事業への投資
(株式・CFD等)

海外での事業拡大
(香港・英国・タイ王国)

コア事業(FX)の強化

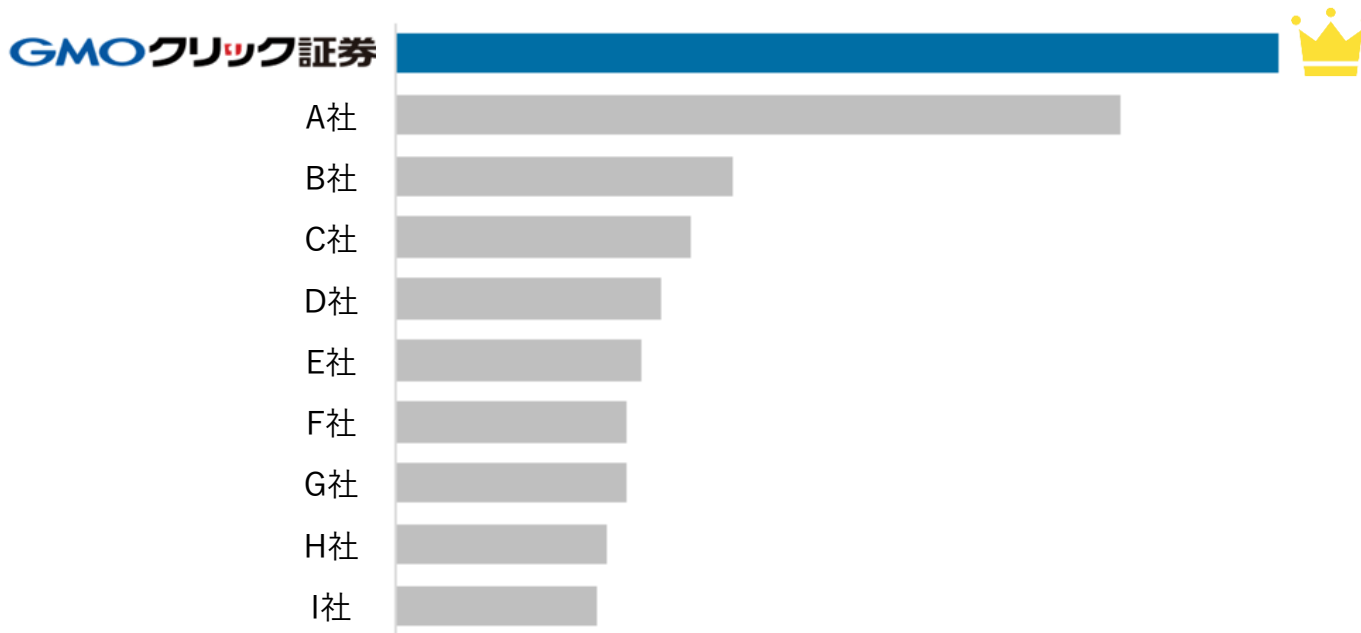
FX事業の強化によってベースの成長は実現可能
さらなる成長のために新規事業にも投資



FX

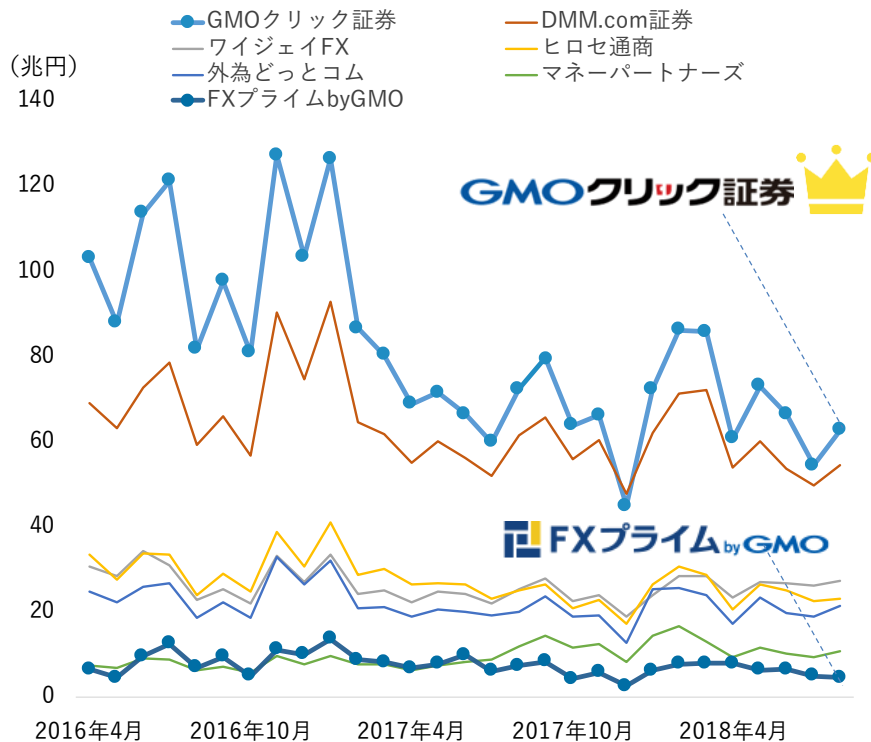
店頭FX取引サービス開始から6年でFX取引高が世界No.1に
2012年～2017年まで6年連続で世界No.1を継続

世界上位10社の2017年FX取引高

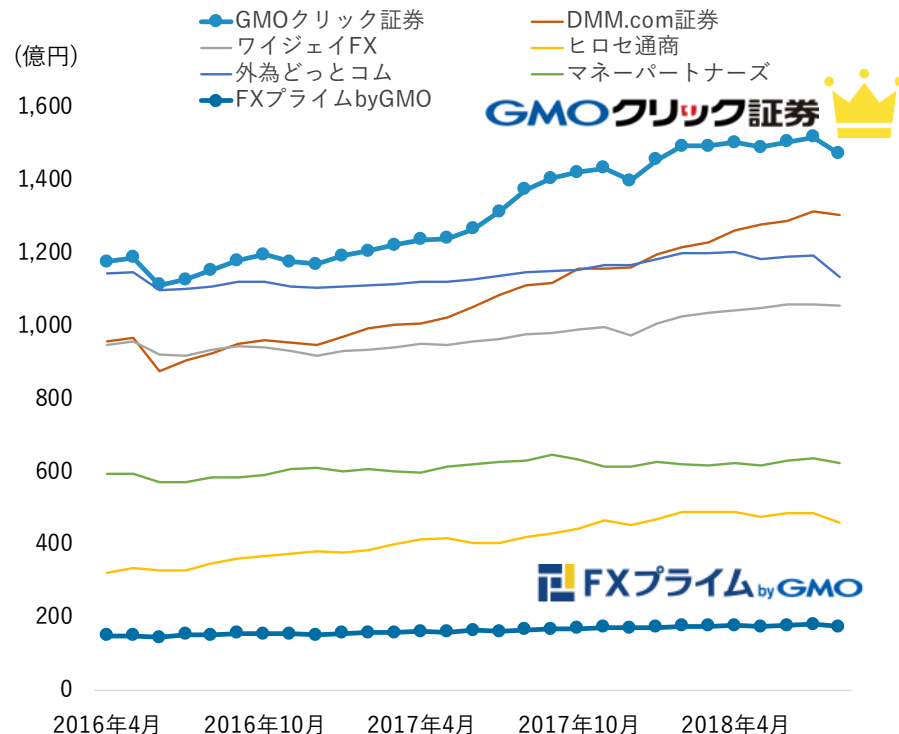


Finance Magnates 「2017年 年間FX取引高調査報告書」

店頭FX取引高



店頭FX預り証拠金残高

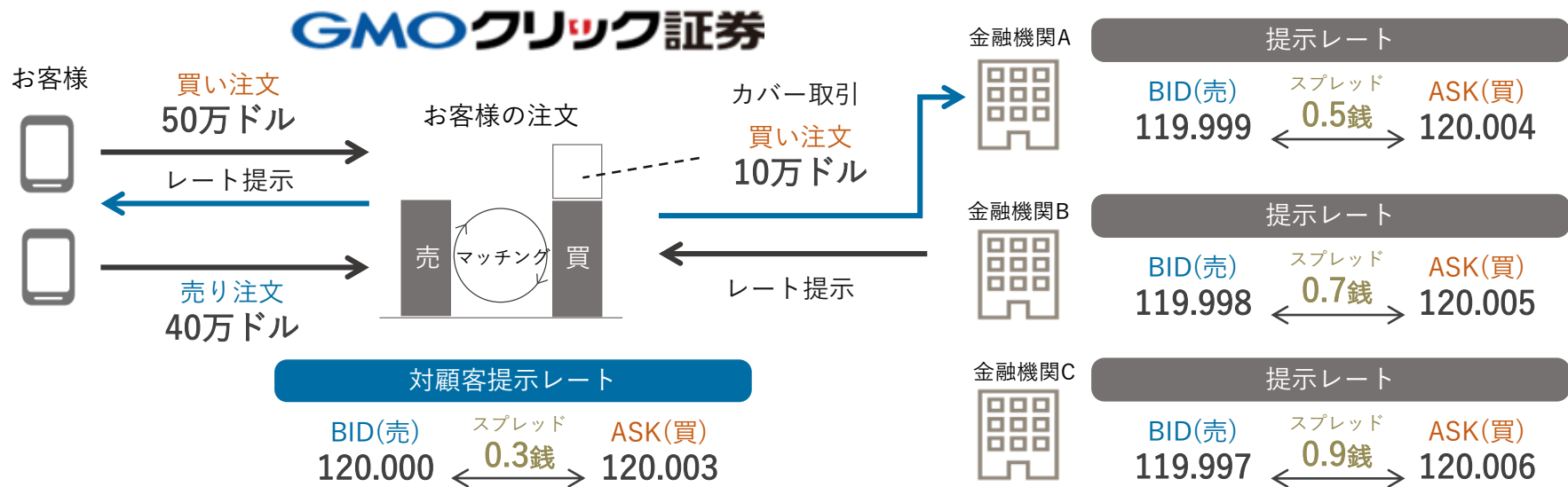


矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月~2018年8月)より当社作成
(取引高は百万通貨は1億円として換算)

お客様からの注文をマッチングし、許容値を超えた注文は最適なカバー取引先にカバーすることで価格変動リスクをヘッジ

対顧客取引

カバー取引



(上記は概念図)

当社グループはFXディーリング業務を完全自動化
さらにビッグデータ解析で利益率を改善

GMOクリック証券



最適なカバー先を判定

その瞬間における
最適カバー先へカバー

金融機関A



提示レート

BID(売)	スプレッド	ASK(買)
119.999	0.5銭	120.004

金融機関B



提示レート

BID(売)	スプレッド	ASK(買)
119.998	0.7銭	120.005

金融機関C



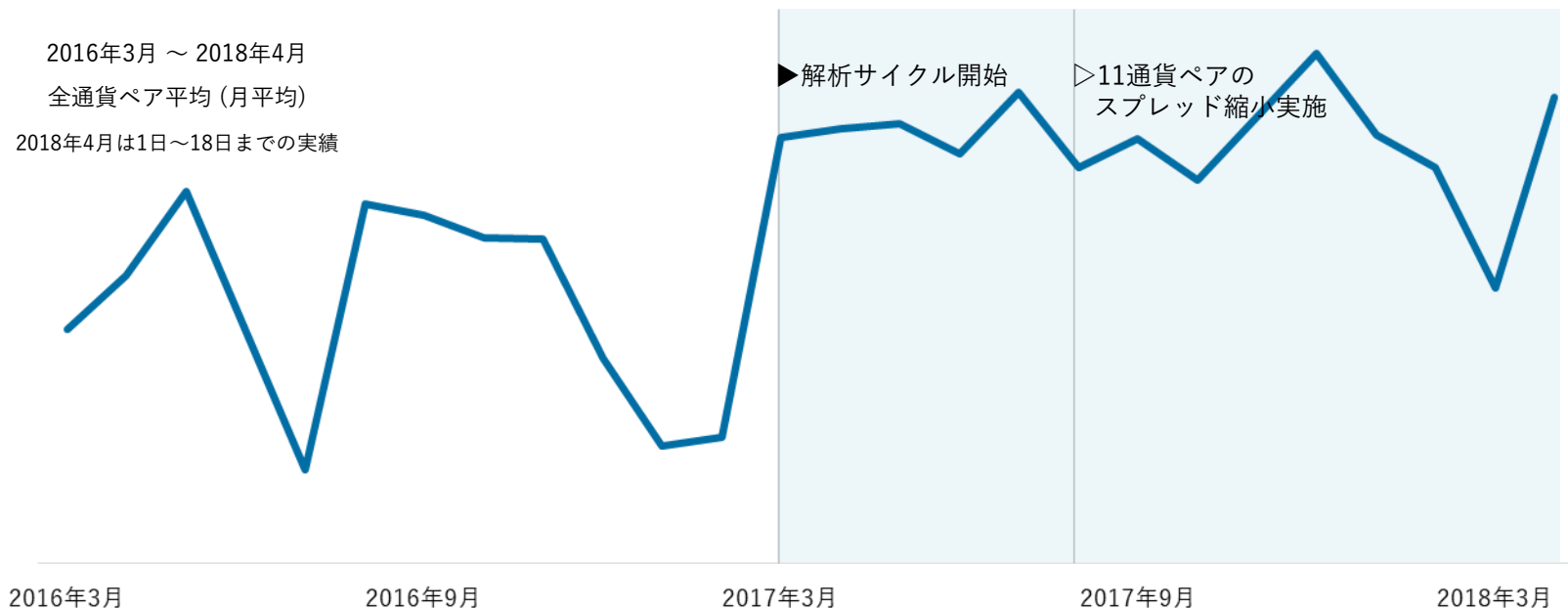
提示レート

BID(売)	スプレッド	ASK(買)
119.997	0.9銭	120.006

(上記は概念図)

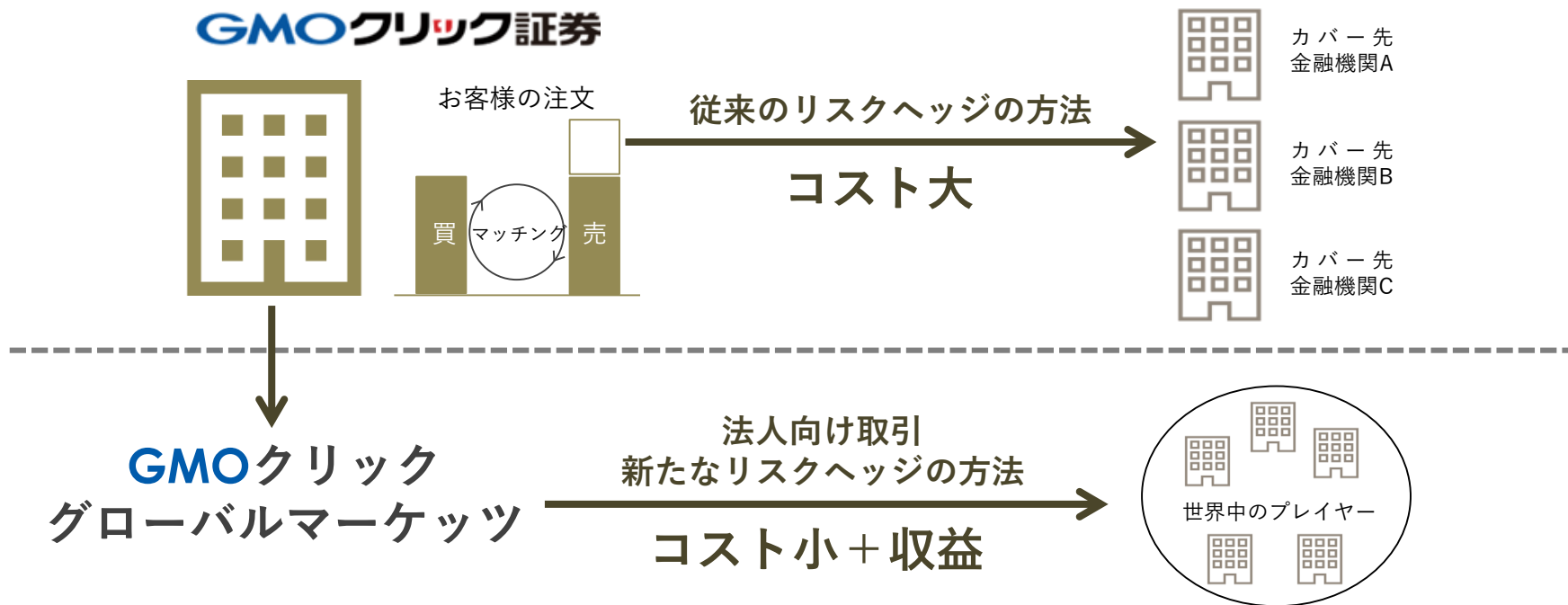
FXディーリング業務の最適化に向けて、ビッグデータや人工知能(AI)などのテクノロジーを活用し収益率改善に取り組む

スプレッド収益率*の推移



*スプレッドに対しどれくらいの比率で収益が出ているかを示す指標。スプレッド0.3に対して収益が0.15であれば、スプレッド収益率は50%

法人向け取引を行うため、2018年5月にGMOクリックグローバルマーケットを設立
カバーコスト低減のため実証実験中



従来リスクヘッジ方法では、レートは金融機関に依存。法人取引では、レートを決定するのは当社グループ

テクノロジーと法人取引を活用することで、さらなる収益改善を実現する

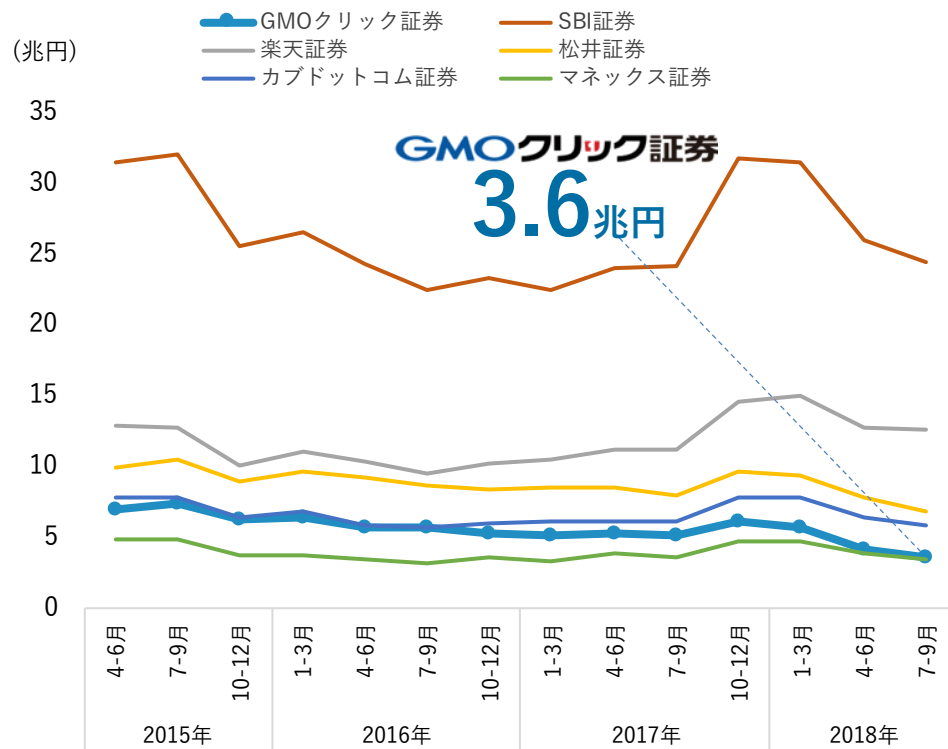


証券

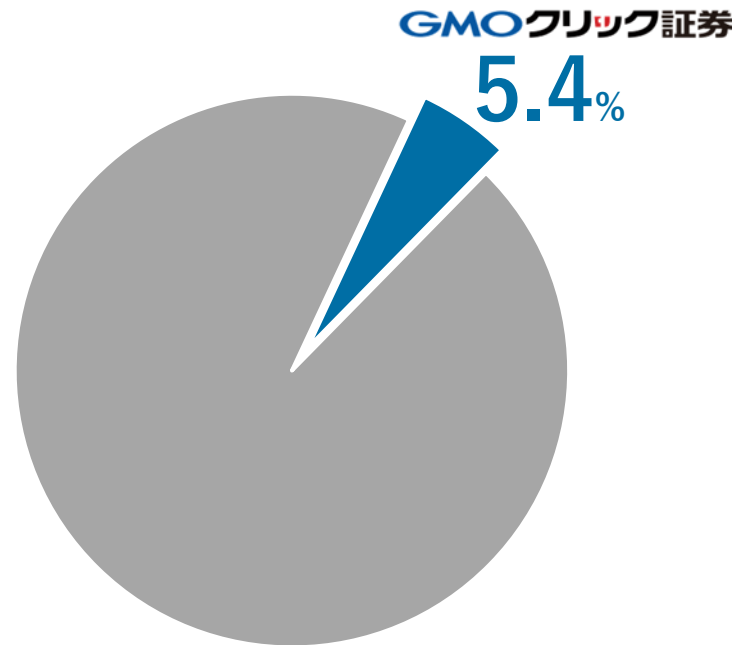
主要ネット証券株式売買代金シェア第5位

後発でスタートも、ネット証券大手の一角を占める規模に成長

主要ネット証券株式等売買代金推移



2市場占める個人株式等委託売買代金シェア
(2018年7-9月)

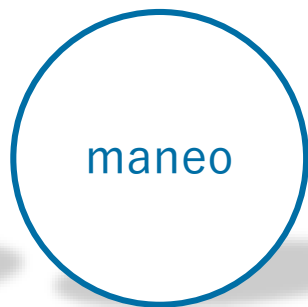


日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

商品・サービスを強化することで顧客層の裾野拡大を図る



2016年10月開始



2016年10月開始



2017年3月開始



2018年8月開始



2018年8月開始

証券関連事業の成長の鍵は、証券コネクト口座
銀行口座の開設を入口に証券取引を開始するお客様が増加

GMOクリック証券 × GMO あおぞらネット銀行

自動ログイン



余力自動反映

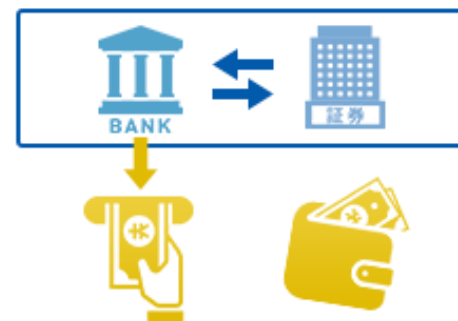
GMOクリック証券



証券コネクト口座

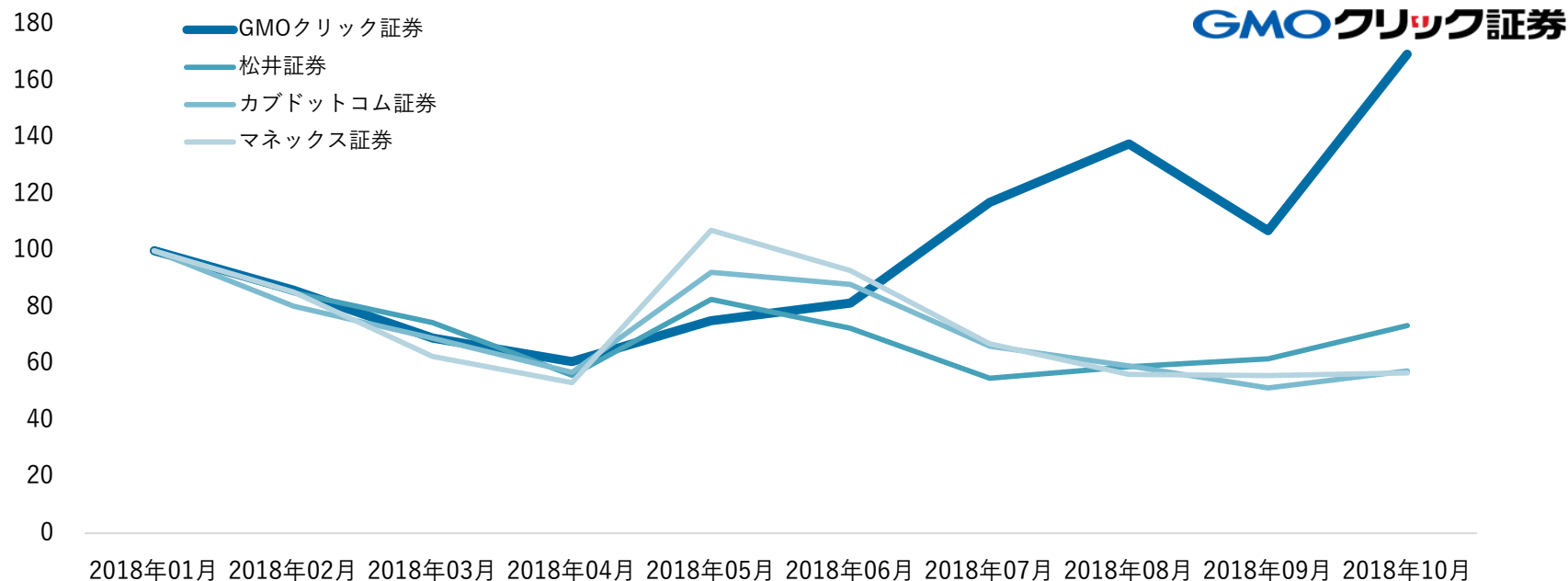
GMO あおぞらネット銀行

即時振替



GMOクリック証券の証券取引口座数は着実に増加

主要ネット証券 口座増加数*の推移
(2018年1月の口座増加数を100として比較)



各社公表資料より当社作成

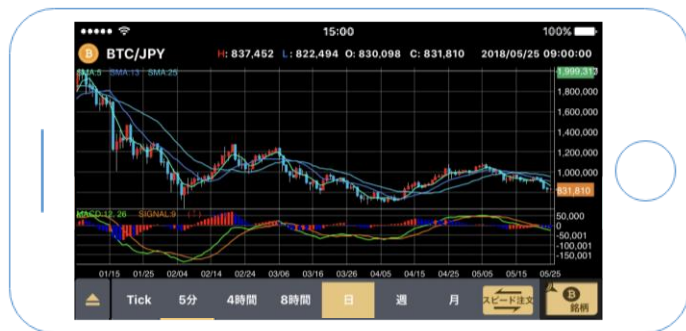
*口座増加数は、各社が公表する月次口座数の前月末口座数からの増加数

仮想通貨

GMOコインは、仮想通貨売買・レバレッジ取引サービスを提供
仮想通貨でもFXと同じくNo.1を目指す

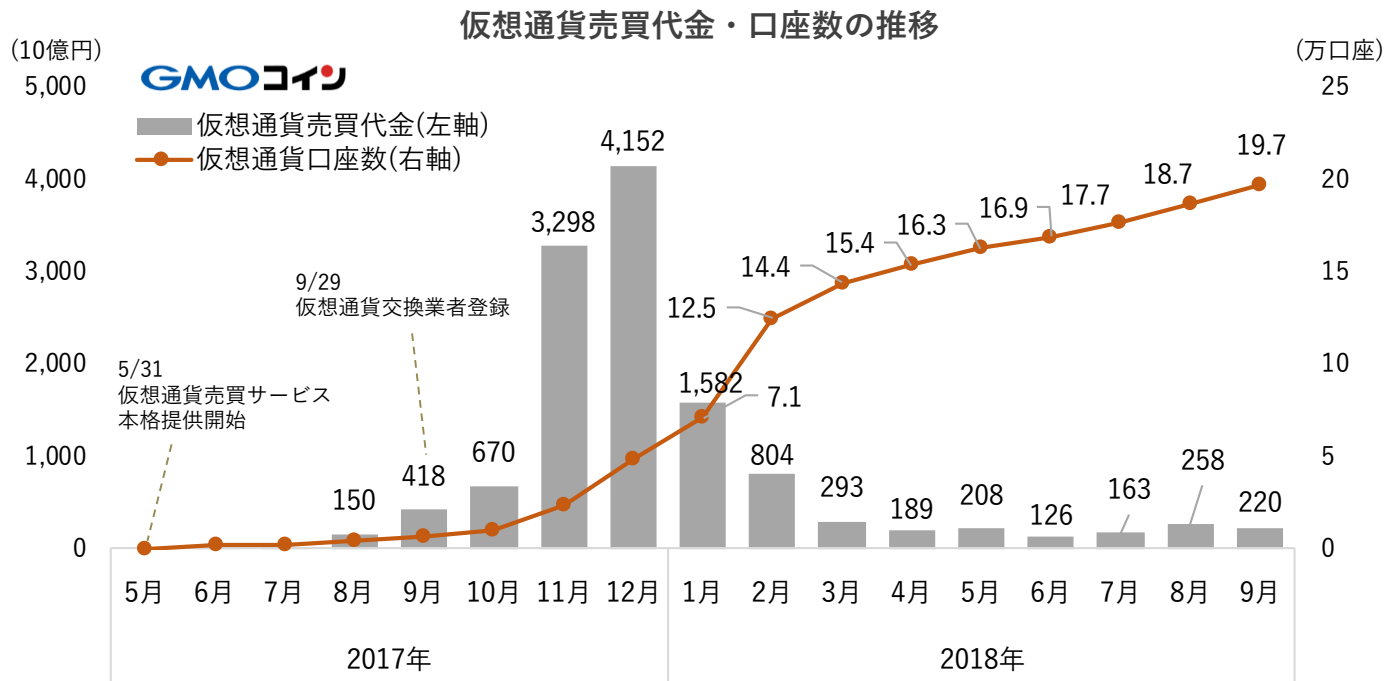


GMOコイン



2017年9月29日
仮想通貨交換業者
登録完了

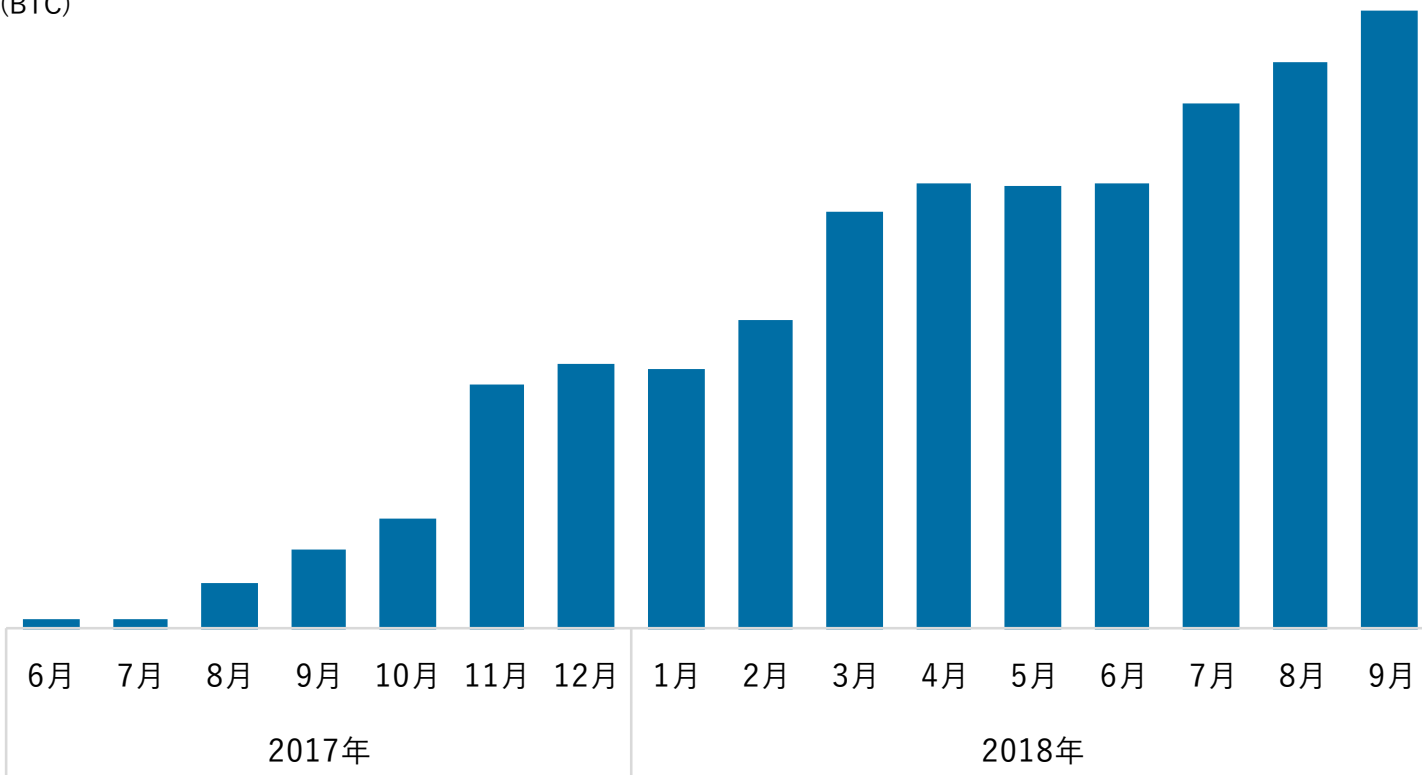
GMOコインの口座数は、2017年5月の本格サービス開始から約1年半で約20万口座の規模にまで成長
 (証券取引口座はサービス開始約12年半で約36万口座)



預り仮想通貨は数量ベースで堅調に推移

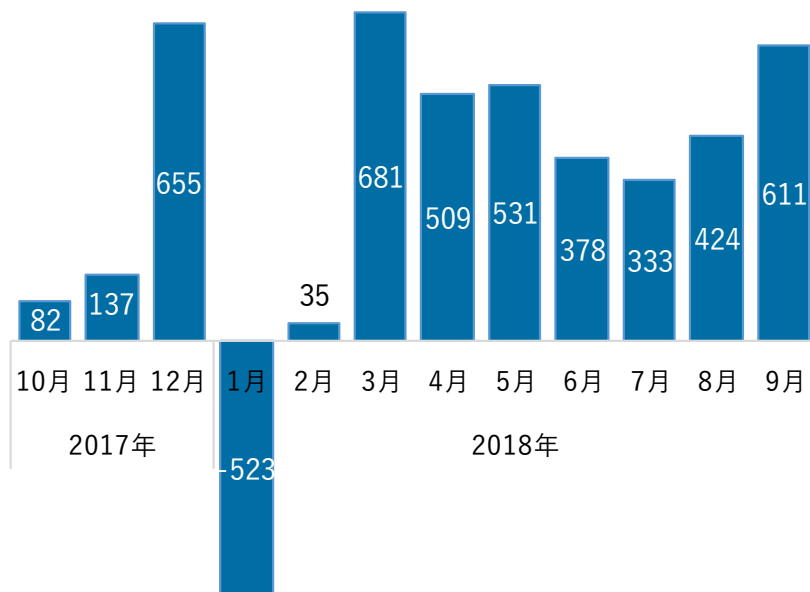
顧客預り資産(ビットコイン)の数量の推移

(BTC)



仮想通貨収益*の推移

(百万円)



2018年1月は相場急落により
ポジション評価損が拡大

足元の収益は 安定的に推移

安定的に収益を生み出す
体制を構築

*2018年3月以前の仮想通貨収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含む

仮想通貨交換業界における課題は、 セキュリティ・ガバナンス・ マネーロンダリング対策の強化

2018年10月、
「一般社団法人日本仮想通貨交換業協会」が
自主規制団体として認可
GMOコインは自主規制団体の理事会社として
業界の健全な発展に向けて尽力

企業グループの概要

成長戦略

■ 株主還元

基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向
50% (年4回配当)

1株当たり 配当金	Q1	Q2	Q3	期末	年間
2018年 12月期	7.46円	8.98円	9.54円	-	-
2017年 12月期	6.90円	8.50円	-	6.20円	21.60円

※決算期変更の経過期間となる第7期（2017年12月期）は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。

優待の内容

GMOクリック証券 における

1. GMOフィナンシャルHD株式買付手数料相当額キャッシュバック
(最大10,000円)
2. いずれかのコースを選択
 - A) 売買手数料相当額キャッシュバック
 - B) FXネオ取引キャッシュバック

所有株式数に応じて
最大15,000円

所有株式数、
取引数量に応じて
最大15,000円

優待基準日

2018年6月末日

※2018年12月末日基準でも実施予定

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.gmofh.com/ir/stock/benefit.html>

- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は、6年連続で世界No.1
ビッグデータ解析と法人取引の活用でさらなる成長を実現する
- 株式は大手ネット証券の一角。今後サービスの充実でさらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存事業、仮想通貨・ネット銀行などの新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

Appendix

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711（通話料無料） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
公告方法	電子公告 公告URL https://www.gmofh.com/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数（株）	持株比率（％）
GMOインターネット株式会社	96,243,100	80.26
株式会社大和証券グループ本社	11,100,000	9.25
高島 秀行	935,775	0.78

■ 所有者別分布状況

株式数（株）			株主数（人）		
	株式数（株）	比率（％）		株主数（人）	比率（％）
金融機関	1,901,900	1.58	金融機関	8	0.07
金融商品取引業者	408,966	0.34	金融商品取引業者	23	0.21
その他の法人	107,606,526	89.73	その他の法人	47	0.43
外国法人等	1,722,371	1.43	外国法人等	61	0.56
個人・その他	8,273,872	6.89	個人・その他	10,574	98.7

（2018年9月30日現在）

https://www.gmofh.com/ir/

GMOフィナンシャルHD お問い合わせ English

ホーム 会社情報 グループ紹介 **IR情報** ニュースリリース 採用情報

IR情報 ホーム > IR情報

IR情報 ▶

- ▶ 経営方針
- ▶ IRニュース
- ▶ 月次開示情報
- ▶ 財務・業績ハイライト
- ▶ IR資料室
- ▶ IRカレンダー

最新IRニュース 一覧を表示

2018年05月22日 **リリース**
剰余金の配当（第1四半期配当）に関するお知らせ 📎 (244KB)

2018年05月18日 **お知らせ**
IRカレンダー（個人投資家向け会社説明会）を更新しました。

2018年05月15日 **リリース**
平成30年4月の月次業績（速報）に関するお知らせ 📎 (153KB)

業績に影響を及ぼすFX取引高や株式委託売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次開示情報として毎月開示しています。

また、決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。